区政を聞く一般質問（要旨）

詳しい内容は、会議録（8月下旬発行予定）をご覧ください。会議録は、区議会公式サイトや区政情報コーナー（区役所3階）、図書館などでご覧になれます。

民主党葛飾

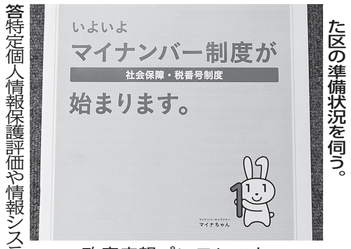
マイナンバー制度の相談体制の確立と空き家対策の着実な実行を

社会保障・税番号制度～マイナンバー制度

問 マイナンバー制度の利用開始に向けた区の準備状況を伺う。

答 特定個人情報保護評価や情報システム改修を行い、今後、個人番号通知の送付に向けたコールセンターやカード交付体制の整備などを進める。

※他の質問項目　中小零細事業者への周知・相談体制等の対応　など



政府広報パンフレット

空き家対策の推進

問 特定空家に対し所得に応じ除去費用の助成等を検討すべきではないか。

答 周辺環境への影響の大きさや所有者からの相談内容などの状況等を総合的に判断するなど、区における適正な制度設計を考える。

※他の質問項目　空き家等対策計画の策定と協議会の設置　など

子育て支援施設の防犯対策の徹底と防災や区民意識を高める教育の充実を

子育て支援施設における防犯対策への取り組み

問 より効果的な子育て支援施設の防犯体制を再構築すべきではないのか。

答 不審者の侵入対策に加え、盗撮や不審物対策等これまでの想定の枠を広げ、未然に防ぐ方法も検討する。

※他の質問項目　防犯対策の課題整理や取り組みの方向性　など

本区の防災教育

問 本区の防災教育の今後を伺う。

答 各学校の防災教育・避難訓練に加え、防災対応型のシミュレーションゲームの導入を検討する。

※他の質問項目　防災教育の現状

社会の変化と教育が果たす役割

問 子ども区議会の今後の方向性を伺う。

答 募集方法について公募を増やすなど、より多くの児童・生徒に子ども区議会を知ってもらうようPRする。

※他の質問項目　主権者意識の醸成

自由民主党議員団

国際都市東京の一員として魅力あるまちづくりを

地方創生

問 地方創生に対する区長の考えを伺う。

答 地方と大都市の共存共栄を基本に、地域特性に応じた人口減少の克服と地方創生、地域の活性化を目指すことが重要であると考える。

※他の質問項目　観光事業充実　など

空き家対策

問 特別措置法の特定空家に対する各種措置の行使は、私有財産権との関係から慎重な対応が必要と考えるが、区の方針を伺う。

答 各種措置を活用し、所有者が自らの責任で実施するように誘導していくことを基本的な方針としている。

※他の質問項目　相談体制充実　など

自転車の安全利用対策

問 区内の自転車関与事故件数が多い現状の改善のため、安全で快適な自転車利用環境の整備が必要と考えるが、区の考えを伺う。

答 ソフト面の対策に加えて、ハード面の課題を周辺区の状況を踏まえて検討し、自転車利用環境の整備に向けた対策を推進する。

※他の質問項目　保険加入促進　など

学校施設の整備計画

問 降雨後の水たまりや凸凹がある場合、直近の整備年次が新しければ校庭整備はできないのか、区の考えを伺う。

答 実際の校庭使用の支障の有無を調査し、改修年度の新旧によらず改修する場合もある。児童・生徒の安全を第一に考慮して優先順位を検討する。

※他の質問項目　和式トイレ　など

水元公園

水元地域の街づくり

問 今後の水元地域の街づくりについてどう取り組むのか、全体像を伺う。

答 「水元公園の豊かな緑・水辺と調和した都市の快適性が享受できる住み良いまち」を将来像としている。スポーツ活動などの促進や道路ネットワーク構築を進め、憩いや潤いにあふれた便利で住み良い街となるよう取り組みを進める。

※他の質問項目　補助138号線　など

区民合意に基づく施設の更新と学童・保育園の待機児童解消を

公共施設の見直し等

問 公共施設等総合管理計画策定において、具体的にどのように総量抑制の方針を担保するのか伺う。

答 本区の課題分析を踏まえ、区民サービス向上と施設の総量抑制を基本的な方針の柱として、計画に反映する。

※他の質問項目　公共施設更新モデルとしての堀切・小菅地域　など

防災・減災対策及び避難施設等

問 防災システム導入の検討状況と、今後の区民サービスに影響が出ないよう関係部署と連携して対応する。

問 新制度施行後、課題が山積しているのに担当課長が設置されていないのはなぜか。

答 新制度準備は26年度で予定どおり終了したため、担当課長は廃止した。

※他の質問項目　新制度への姿勢　など

危機管理体制

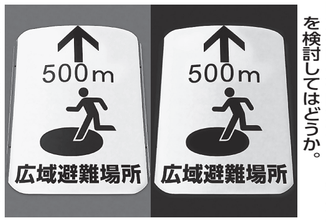
問 噴火の可能性が指摘される富士山や箱根山の降灰対策を今後どのように進めるのか伺う。

答 地域防災計画に基づき、東京都との役割分担の下、連携して進める。

問 避難行動要支援者名簿作成のため、情報提供同意者をどう増やすのか。

答 民生委員や高齢者総合相談センター等に情報提供・協力依頼を行う。

問 災害時の夜間対策として蓄光の導入を検討してはどうか。



災害時の夜間対策（蓄光）
昼間と夜間

答 釜石市の先進事例から必要性を認識している。技術革新が顕著で導入コストも軽減されており、避難場所等への標示板に蓄光の導入を検討する。

※他の質問項目　降灰対策の周知　など

無所属（※3）

介護職員確保のためのサポートを

共通番号制度

問 共通番号制度に向けたシステム導入について、現在の進捗状況はどのようになっているのか。

答 特定個人情報の厳格な管理、必要と

問 コーディネーター等専門職の配置など、中小・小規模企業の拠点となるテクノプラザかつしかの体制を強化すべきと思うがどうか。

答 現在、中小企業診断士の相談員を複数配置し、企業間のコーディネートから経営全般までを相談できる体制をとっており、コーディネーターの増員は考えていない。

※他の質問項目　小規模企業振興基本法の具体化　など

子どもの貧困

問 国や都の調査を待つまでもなく、区が独自に実態を把握し、早期発見、早期支援につなげるために、専門的な部署も設置すべきと思うがどうか。

答 これまでの取り組みと新たな就労準備支援事業等への取り組みや学習支援事業導入の検討などを進めていく中で、その必要性を判断していくべき課題であると捉えている。

※他の質問項目　貧困世帯支援　など

介護保険の新総合事業

問 来年度実施にこだわるのではなく、本人・家族の受給権の保障など現実に起きている問題を回避するためにどうするのか、明確にすべきと思うがどうか。

答 来年4月から現在の介護予防訪問介護と介護予防通所介護が新総合事業に移行する。区民ニーズにあったサービス内容に見直し、サービス価格は、介護サービス事業者と十分協議のうえで定めていく。

生活困窮者の居住対策

問 格差が拡大し、隙間産業としての貧困ビジネスが広がっている現状をどう認識しているのか。また、こうした事態を克服するための努力が必要と思うがどうか。

答 貧困ビジネスの広がりについては承知しており、生活保護受給者から、保護費の大半を不当に搾取する者に対して厳正な指導をするなど、毅然とした対応を行っている。

※他の質問項目　脱法ハウスへの対応　など

水元公園

問 噴水広場の噴水が止まったままになっているが、もとに戻すよう東京都に要請すべきと思うがどうか。

水元公園噴水

答 噴水の再開について東京都に要請していく。

※他の質問項目　一体的整備　など

政策葛飾

区内医療環境の充実と危機管理体制の一層の強化推進を

葛飾区の医療政策

問 旧松上小学校跡地に整備する新病院の具体的な医療機能や特色を伺う。

答 救急医療を中心に、地域の診療所等と連携し、内科・循環器内科など11の診療科目でスタートする。

問 土地の使用料を50年にわたり二分の一に減額する根拠を伺う。

答 救急医療や高齢化に対応した医療機能の実現などの地域貢献を考慮した。

問 堀切から新小岩への病床の移し替えが医療環境の充実と言えるかどうか。

答 仮に新葛飾病院の全病床が新病院に移っても当地区の医療環境が低下しないよう具体的な協議を進めていく。

※他の質問項目　医療環境計画の策定　など

子ども子育て新制度の進捗状況

問 新制度導入により葛飾区において課題は発生しているか伺う。

答 情報システムの改修に遅れが出たが、今後の進め方について伺う。

答 災害時の情報の流れの整理と、被災自治体の使用例などの情報を活かし、できる限り早期に導入したい。

※他の質問項目　小菅西・東公園活用

子育て支援事業における待機児童対策

問 今年度、学童保育クラブに待機児童が多く発生した。これをどう分析し、どんな対策が必要と考えるか。

答 今年度138人の待機児童が発生した。1～3年生の入会希望者増が主原因と考える。今後も学校内設置を原則としつつ、入会児童の急増や学校内設置が困難な場合は、学校周辺の賃貸物件の活用なども視野に入れて検討し、整備する必要があると考える。

※他の質問項目　待機児童解消のための民間事業者との協働　など

公共交通

問 綾瀬止まりの電車を、少しでも本区まで延長させるよう取り組むべきと思うが、区の考えは。

答 千代田線の延伸は、乗り換えの改善と亀有・金町の街づくりや観光などで効果がある。利便性向上と駅周辺の賑わい創出などを目指し取り組む。

※他の質問項目　バス交通網　など

学校教育及びICT教育

問 区内どこの学校でも同じような高い水準の教育が実践されるべきと思うが、教育長の考えを伺う。

答 区内どの学校でも同様の高い水準の教育が受けられるようにすることが、公立学校及び教育委員会の責務である。教員研修の充実と葛飾スタンダードの実践を積極的に進める。

※他の質問項目　評定の格差　など

2020年東京オリンピック・パラリンピック

問 本区を聖火リレーが通過するよう、また区民が聖火ランナーに参加できるよう、大会組織委員会及び東京都に働きかけるべきと考えるがどうか。

答 大会組織委員会や都と密接に連携を取りながら、可能な限り要望する。

※他の質問項目　ボランティアの活用

校庭芝生化と井戸の設置

問 散水に使える井戸を設置して、水道使用量の縮減を図ってはどうか。

答 水道使用量縮減や災害時の活用も考えられるため、関係部署と検討する。

※他の質問項目　全校への井戸の設置

葛飾区議会公明党

大規模災害に向けた防災対策の強化とわかりやすい公共サインの再構築を

防災対策

問 緊急防災3か年プロジェクトの進捗状況と中期実施計画における災害対策の強化について伺う。

答 小・中学校のマンホールトイレの整備と非構造部材の落下防止対策の調査や、エイトホールとウィメンズパルでの非常用発電機の整備を完了した。また、中期実施計画においては、区民との協働による減災対策の推進などの5つの視点により、災害対策への取り組みを強化する。

※他の質問項目　感震ブレーカーの設置促進の検討状況　など

空き家対策

問 空き家等対策の推進に関する特別措置法の基本方針の中に、協議会の設置やデータベースの整備があるが、区はどのようなスケジュールで実施していくのか伺う。

答 今年の秋を目途に空き家対策に関する協議会を立ち上げる。データベースについては、できるだけ早い段階で整備していく。

※他の質問項目　空き家の利活用への取り組み

公共サインの再構築

問 公共サインガイドライン策定で特に力を入れた点と最大の特徴を伺う。

答 高齢社会の進展や外国人観光客の利用なども見据えて、ユニバーサルデザインにも配慮した、利用者にとって使いやすい公共サインとすることに最も力を入れた。また、耐久性・耐候性のある素材を採用するなど、維持管理の面にも配慮したことが最大の特徴である。

※他の質問項目　モデル整備を行う堀切地区の公共サインの現状　など

グローバル時代の多文化共生

問 具体的な方策について伺う。

答 通訳派遣の柔軟な対応、日本語学級を特別の教育課程に位置付けて組織的な指導体系を構築、多文化共生センターといわれるような組織を立ち上げ総合的な対策を進めていく。

※他の質問項目　人材育成

認知症サポーターの積極的な養成と自転車による交通災害対策

認知症高齢者等にやさしい地域づくり

問 認知症サポーター養成講座を小・中学校で早期に取り組む必要があると思うが、教育長の見解を伺う。

答 小・中学生向けの認知症サポーター養成講座の導入を、地域包括ケアシステムのモデル事業の実施地区から各学校へ普及、啓発していくための具体的な検討を進めていく。

※他の質問項目　スキルアップ　など

「読書権」を保障するための仕組みづくり

問 代筆・代読を必要とする区民を支援する仕組みが必要と考えるがどうか。

答 現在ホームヘルパーが同行援護等のサービスの中で実施している。今後、社会福祉協議会に代読・代筆サービスの実施について提案する。

※他の質問項目　代読・代筆情報支援員養成講座　など

小・中学校での英語教育のさらなる充実

問 英語体験活動で興味を持った英語を引き続き身近に感じるような取り組みが必要だと考えるがどうか。

区政を聞く一般質問（要旨）
詳しい内容は、会議録（8月下旬発行予定）をご覧ください。会議録は、区議会公式サイトや区政情報コーナー（区役所3階）、図書館などでご覧になれます。

答 体験活動で作成した教材を日常の学校教育で活用するなど、身近に英語に触れる環境を構築していく。

※他の質問項目　小・中学生向け英文シートの作成や活用　など

自転車による交通安全・交通災害対策

問 3人乗り自転車の購入助成は1人目から利用できるよう柔軟な制度設計をするべきと考えるがどうか。

3人乗り自転車

答 区民の要望を丁寧に受け止めるとともに、事業効果などさまざまな観点から総合的に検討を進める。

※他の質問項目　各世代ごとの交通災害対策　など

子ども・子育て支援法の「利用者支援事業」

問 出産・子育て支援事業の趣旨と具体的な事業内容を伺う。

答 相談を通じて子どもを産みやすく、育てやすい環境の構築を目指すもので、母子健康手帳の交付窓口に看護職を配置し、面談の機会を設ける。

※他の質問項目　産後うつ等を発生させない取り組み　など

他の質問件名　高砂一丁目地域のバス交通

日本共産党葛飾区議会議員団

憲法違反の「戦争法案」反対
区民のくらし・営業応援へ提案

中小企業・小規模企業対策

問 コーディネーター等専門職の配置など、中小・小規模企業の拠点となるテクノプラザかつしかの体制を強化すべきと思うがどうか。

答 現在、中小企業診断士の相談員を複数配置し、企業間のコーディネートから経営全般までを相談できる体制をとっており、コーディネーターの増員は考えていない。

※他の質問項目　小規模企業振興基本法の具体化　など

子どもの貧困

問 国や都の調査を待つまでもなく、区が独自に実態を把握し、早期発見、早期支援につなげるために、専門的な部署も設置すべきと思うがどうか。

答 これまでの取り組みと新たな就労準備支援事業等への取り組みや学習支援事業導入の検討などを進めていく中で、その必要性を判断していくべき課題であると捉えている。

※他の質問項目　貧困世帯支援　など

介護保険の新総合事業

問 来年度実施にこだわるのではなく、本人・家族の受給権の保障など現実に起きている問題を回避するためにどうするのか、明確にすべきと思うがどうか。

答 来年4月から現在の介護予防訪問介護と介護予防通所介護が新総合事業に移行する。区民ニーズにあったサービス内容に見直し、サービス価格は、介護サービス事業者と十分協議のうえで定めていく。

生活困窮者の居住対策

問 格差が拡大し、隙間産業としての貧困ビジネスが広がっている現状をどう認識しているのか。また、こうした事態を克服するための努力が必要と思うがどうか。

答 貧困ビジネスの広がりについては承知しており、生活保護受給者から、保護費の大半を不当に搾取する者に対して厳正な指導をするなど、毅然とした対応を行っている。

共通番号制度

問 共通番号制度に向けたシステム導入について、現在の進捗状況はどのようになっているのか。

答 特定個人情報の厳格な管理、必要と

問 コーディネーター等専門職の配置など、中小・小規模企業の拠点となるテクノプラザかつしかの体制を強化すべきと思うがどうか。

答 現在、中小企業診断士の相談員を複数配置し、企業間のコーディネートから経営全般までを相談できる体制をとっており、コーディネーターの増員は考えていない。

※他の質問項目　小規模企業振興基本法の具体化　など

放射線対策事業

問 今年度以降の放射線対策事業の取り組みについて、区はどのように考えているのか。

答 費用対効果や風評からの脱却なども視野に入れ、区民の不安払拭に向けて継続すべき事業と見直すべき事業を見極め、次年度に反映させていく。

※他の質問項目　健康診断助成制度

介護人材の確保

問 どのように人材を集め本区で働き続けてもらうのか、区が取り組むべきことをどのように考えているのか。

介護施設の様子

答 介護サービス事業者合同説明会の開催、区内・近隣の福祉の専門学校や高校、ハローワークへの協力依頼、勤務経験者向け就職支援講座開催などの取り組みを充実させ、介護職員処遇改善加算の効果や現場の実状などを踏まえ、介護職員の賃金や労働環境の改善を国や都に要望していく。

無所属（※1）

事業協力者に丸投げ青天井の再開発は見直し、区民の生活を守る区政を

京成立石駅周辺の再開発事業

問 北口再開発で東西棟の内容を入れ替えるなどの大きな変更の理由は何か。

答 工事費の上昇など社会情勢等を踏まえ準備組合が変更を行っている。

問 立石駅通り商店街を東西に分断し、交通広場が計画されると聞く南口再開発事業案について区の見解を伺う。

答 交通広場については、事業性について十分検討し、進めていただきたい。

立石駅通り商店街と
立石駅周辺地区街づくり事務所

交通安全対策など

問 金町消防署亀有出張所への救急車（隊）配備について交渉状況を伺う。

答 本年10月1日に救急車を1台配備予定で準備していると聞いている。

※他の質問項目　自転車ルール　など

都市整備など

問 公園・児童遊園内は子どもたちの健康等を考え禁煙にすべきではないか。

答 歩行喫煙は禁止だが禁煙ではない。社会動向を見て適切な対応を図る。

※他の質問項目　屋外広告物

教育

問 中学校における1学期の中間テストは全校で実施すべきではないか。

答 行事等を考慮したうえで1学期の中間考査の実施について指導していく。

※他の質問項目　中学校案内

他の質問件名　子育て・健康（部）